学 校 だ よ り　２ 月 号

横浜市立日下小学校　令和６年　１月３１日

夢 に 向 か っ て　と も に 歩 み　未 来 を 拓 く　日 下 小

日下小学校 ホームページURL

http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hishita

立春「めぶくとき」

副校長　　沖なおみ

四季折々の日本の気候に少し変化が感じられる近年ではありますが、２月４日(日)は、早くも立春を迎えます。

先週１月２５日（木）の登校時のことです。校庭に面した職員室のドアをドンドンと勢いよく叩く音が聞こえました。慌ててドアを開けると、「先生（担任）に見せたい」と手に小さな霜柱を握りしめた１年生が何人も集まっていました。一人が見せると、「ほら」と他の児童も手の中を見せてくれます。これは何かと尋ねると、「しもばしら」と大きな声で答え、早く見せたくてたまらないといった様子でした。担任を待つ間にも霜柱をしっかりと手に握りしめていましたが、霜柱が溶けないように「こうしたらいいよ」ということは、あえて声を掛けないでおきました。なぜなら、たとえ担任に見せたときに、霜柱が溶けて最初の形から変わっていたり、もしくは無くなってしまっていたりしても、それはまた、霜柱を知る学びにつながるからです。それよりも、子どもたちが、どんなふうに自分たちが見つけた霜柱のことを担任に伝えるのかが楽しみでした。

いつの時代も、子どもたちには、心が育つと学力も育つと言われています。と言うのは、心が育つと素直に好奇心がもてるようになり、好奇心が駆り立てられると、考えよう調べようといった課題が自分ごととして掴めるようになるからです。霜柱を見つけた子どもたちは、霜柱を手に取り実際に間近で見て、さらに担任に伝えたことで、自分ごととして冬を見つけられたのだと思います。

先日、電車に乗っていたときのことです。隣に乗り合わせた大勢のご家族の方が、「今の学校では、子どもたちが iPad で勉強していて、iPad を使っていることも凄いけど、子どもたちが iPad を使いこなせていることが、とにかく凄いよね。」と話していました。電車を降りるときには、「でも学校では、勉強が楽しいってことを、とにかく分かってほしいね。」とも話していました。皆、感心して聞いている様子で真剣に語ったり、笑いを誘ったりしながらの会話でしたが、最後の言葉には思わず相槌を打ちたくなりました。確かに、勉強が楽しいと思えることが大事です。そして勉強が“分かった”“できた”となっていくことが、学ぶ意欲につながっていきます。

さて、これから少しずつ春が近づいてくると、日足は徐々に長くなり、木々が芽吹いてきます。植物が一斉に芽吹く様子は、人の心にも躍動感を与え、それは子どもたちの姿にも重なります。４年生は、２月９日（金）の授業参観に「めぶきの会」を、６年生は２月１６日（金）の授業参観に「はばたきの会」を行います。他の学年も２月２９日（木）に授業参観を行う予定です。

子どもたちには、一人ひとりに必ずよいところがあり、４月から頑張ってきたことがあります。子どもたちが芽吹く姿（分かった、できた）を、たくさんの皆様に見ていただけたらと思います。是非ご参観くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。